



みどり

金 杉 小 学 校
学 校 だ よ り
第 8 号
平 成 2 3 年 1 2 月 1 日

12月

歌声発表会



11月2日(火)に歌声発表会が松伏中で行われました。どのクラスも練習の成果を発揮しすばらしい歌声を聞かせてくれました。また、中学生の迫力ある合唱に感動していました。



6年修学旅行



今年の6年生の修学旅行は鎌倉とキッザニア東京に行って来ました。鎌倉では班別行動でお寺などをめぐり、キッザニアでは、たくさんの職業体験をしました。小学校生活のいい思い出ができました。

3年みそづくり



学習支援ボランティアさんたちのご協力により味噌づくり体験活動を行うことができました。なかなか経験できない貴重な学習ができたことと思います。一年後、味噌が熟成するのが楽しみです。ボランティアのみなさん、ありがとうございました。

給食費の集金日は14日です
おつりのないように、集金にご協力ください。
金額は3800円です。

金杉小学校のホームページがありますのでご覧ください。
ホームページ <http://matsubushi.ed.jp/kanasyo/>

教 育 目 標

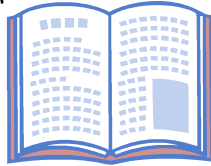
よく学ぶ子
なかよく助け合う子
たくましく健康な子

在籍児童数
男子153名
女子150名
計303名

「立ち読みにまつわる最も美しい話」

校長 大場行雄

「19世紀、欧州のある街で、貧しい本好きの少年が毎日、書店のウインドーに飾られた一冊の本を眺めていた。読みたいけれどお金がない。ある日のこと、本のページが1枚めくられていた。翌日も1枚めくられていて、少年は続きを読んだ。そうして毎日めくられていく本を、少年は何ヶ月もかかって読み終えることができたそうだ。おとぎ話のような、書店の主の計らいである。」



これは鶴ヶ谷真一さんの「月光に書を読む」という本の中の「立ち読みにまつわる最も美しい話」で、1年前の新聞に載っていたものです。短い文章ですが、これには我々の子育てに関するヒントが含まれていると思うのです。

もし仮に、書店の主が親切心で少年にこの本をあげていたとしたら(プレゼント)、どうだったでしょうか。きっと少年は、本を一気に読み上げ、書店の主に大いに感謝したと思います。

しかし、書店の主は本をあげたのではなく、毎日一枚一枚めくったというところに私は感銘を受けました。そのお陰で少年はいろいろなことを身につけることができたのではないかと思います。明日は物語がどう展開するのだろうと毎日働かせた想像力、何ヶ月もかかって一冊の本を読み終えたときの達成感や充実感、雨の日も風の日も読みたい一心で通ったことによる忍耐力や体力、そして今日もめくってくれているという主への感謝の気持ちなど、書店に通い続けた少年は大きく成長したと思います。

我々は、毎日の忙しさの中で子どもにいわゆる「本をあげてしまっている」ということはないでしょうか。簡単に環境を整えてあげてしまうことは、むしろ子どもの成長や自立を阻んでいるということになります。

書店の主の「毎日めくる」ということは、子育てでいえば、「時間をかける」「手をかける」「繰り返す」「続ける」ということに繋がると思えます。

今週は担任との個別面談が実施されています。これを機会に、家族で子育てについて振り返ってみてはいかがでしょうか。

(因みに、「この少年は後に歴史に名を残す人物になるのだが、それが誰だったのか、ここ数年思い出せずにいる。」と鶴ヶ谷さんは書いています。)

行 事 予 定

1	木	個別面談 5年もちつき 学校応援団推進委員会
2	金	個別面談 持久走大会
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	全校朝会 避難訓練
7	水	5・6年書き初め競書会 あいさつ運動 3年SB見学 学校評議員会
8	木	3・4年書き初め競書会 あいさつ運動 委員会活動
9	金	お話ポケット 教育相談日 あいさつ運動 リサイクルデー 安全点検日 教育相談日
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	表彰朝会
14	水	給食費集金日 大掃除週間～20日
15	木	クラブ活動
16	金	ミニクリーン作戦 5時間授業
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	4時間授業 大掃除 2:00頃下校
21	水	4時間授業 給食終了 1:45頃下校
22	木	終業式 3時間授業 一斉下校11:45頃下校開始
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	冬季休業日

1月の主な予定

10日	始業式・一斉下校
11日	給食開始4時間授業 委員会活動(5・6年5時間目)
18日	給食費集金日
19日	3つの達成目標効果の検証テスト
24日	標準学力テスト(国・算)
25日	6年社会科見学
31日	5年社会科見学